SONY

3-864-627-01(1)

コンパクトディスク コンパクトプレーヤー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

D-180WP

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを　この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときはサービスへ　お買い上げ店、または添付の「サービス窓口・ご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は　保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は　修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、CDコンパクトプレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

ソニー株式会社　〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

●東京(03)5448-3311 ●名古屋(052)232-2611 ●大阪(06)539-5111

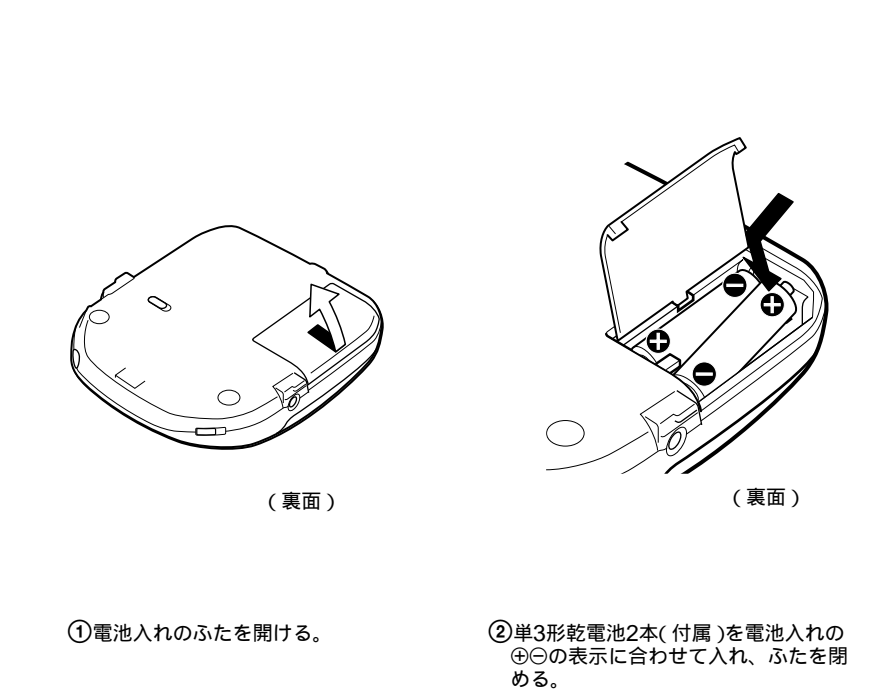
準備する

乾電池（付属）を入れてから、ヘッドホン（付属）をつなぎます。
本機は乾電池のほか、充電式電池やACパワーアダプターで使うこともできます。（裏面の「電源」参照。）

1 乾電池を入れる

（裏面）

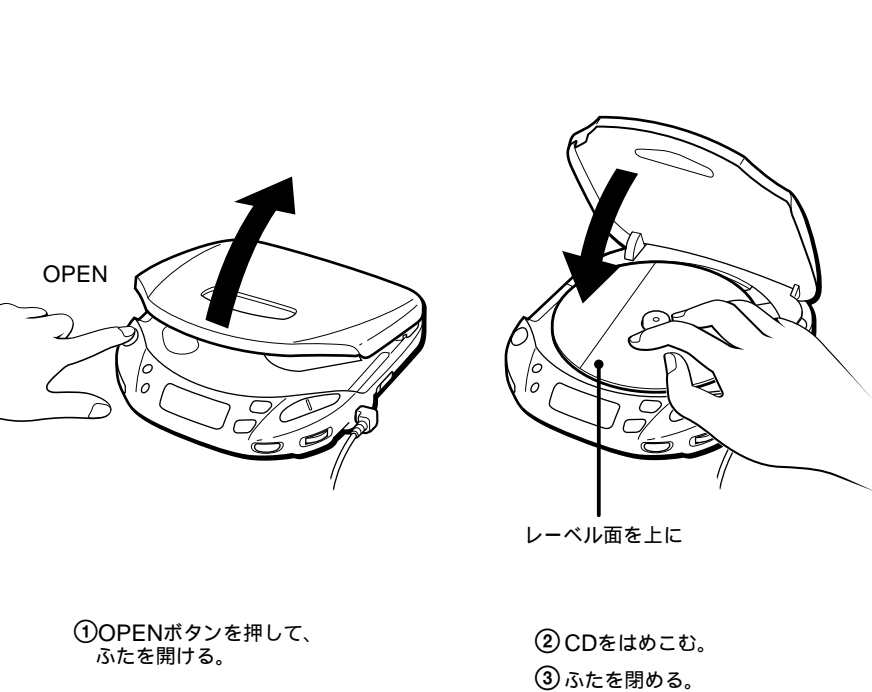
①電池入れのふたを開ける。

（裏面）

②単3形乾電池2本（付属）を電池入れの⊕⊖の表示に合わせて入れ、ふたを閉める。

2 ヘッドホンをつなぐ

CDを聞く

付属の乾電池を使ってCDを聞いてみましょう。

1 CDを入れる

①OPENボタンを押して、ふたを開ける。

②CDをはめこむ。

③ふたを閉める。

2 聞く

演奏を止めるには、■ボタンを押します。

操作	押すボタン
一時停止する	►II
一時停止を解除する	►II
今聞いている曲を頭出しする（AMS*機能）	I◄◄を1度押す。**
前の曲、さらに前の曲を頭出しする（AMS機能）	I◄◄を繰り返し押す。**
次の曲を頭出しする（AMS機能）	►►Iを1度押す。**
さらに先の曲を頭出しする（AMS機能）	►►Iを繰り返し押す。**
早戻しする（サーチ機能）	I◄◄を押したままにする。**
早送りする（サーチ機能）	►►Iを押したままにする。**

*AMSはAutomatic Music Sensor（オートマチックミュージックセンサー）の略です。曲の頭を探す機能です。
**これらの操作は、演奏中にも一時停止中にもできます。

CDを取り出すには

中心の黒い部分を押さえながら、端のほうからつまみあげてください。

乾電池を取り出すには

下の絵のように、⊕側を引き上げて取り出します。

電池ぶたがはずれたときは

電池ぶたは本機を誤って落としたり、無理な力を加えたりするとはずれることがあります。下の絵のようにはめ直してください。

表示窓について

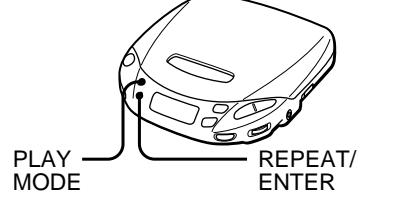
- ►IIボタンを押すと（RESUMEスイッチがOFFのとき）、総曲数と総演奏時間が約2秒間出ます。
- 演奏中は、演奏中の曲番号とその経過時間が出ます。
- 曲間には、次の曲が始まるまでの時間が出ます。
- 一時停止中は、止まった時点の表示が点滅します。

CDの取り扱いについて

- 演奏面に手を触れないように持ってください。
- 紙やテープを表面に貼らないでください。
- 直射日光があたるところなど高温の場所や、直射日光下で窓を閉め切った車の中に放置しないでください。

►いろいろな聞きかた

繰り返し聞く（リピート演奏）

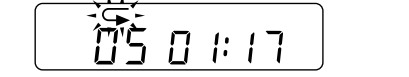
通常の演奏や、イントロプログラム演奏、シャッフル演奏、プログラム演奏を繰り返し聞けます。1曲だけでも繰り返し演奏できます。

全曲を繰り返すには

演奏中にREPEAT/ENTERボタンを押します。

「⟲」が出ます。

リピート演奏をやめるには、もう1度REPEAT/ENTER ボタンを押します。

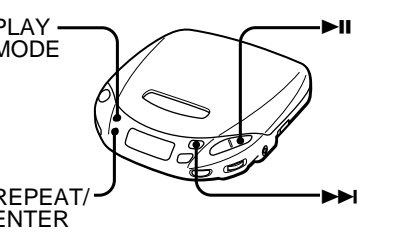
1曲だけを繰り返すには

1 繰り返したい曲の演奏中にREPEAT/ENTERボタンを押す。
「⟲」が出ます。

2 「1」が出るまでPLAY MODEボタンを繰り返し押す。

他の曲を繰り返すにはI◄◄または►►Iを押します。

リピート演奏をやめるには、もう1度REPEAT/ENTER ボタンを押します。

聞きたい曲だけを聞く（イントロプログラム演奏）

曲の最初の15秒をひと通り聞きながら曲を選び、選んだ曲だけを聞けます。

1 **演奏中に「INTRO PGM」が出るまでPLAY MODEボタンを繰り返し押す。**

ゆっくり点滅

2 **►IIボタンを押す。**
各曲の最初の15秒を次々に演奏します。「INTRO PGM」は速く点滅します。

3 **聞きたい曲になったらREPEAT/ENTERボタンを押す。**
曲が登録されます。聞きたくないときは次の曲に移るまで待つか、►►Iボタンを押します。

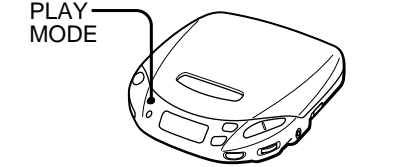
最後の曲の演奏が終わると、「INTRO PGM」の点滅が止まり、登録した曲だけが自動的に演奏されます。

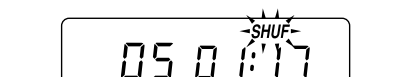
最後の曲までいかずに登録を終了するには、►IIボタンを押します。登録した曲が演奏されます。

■ボタンを押すと、登録した曲順が消えてしまいます。消したくないときは、RESUMEスイッチをONに合わせてください。

イントロプログラム演奏をやめるには、演奏モードの表示が消えるまでPLAY MODEボタンを繰り返し押します。

順不同に聞く（シャッフル演奏）

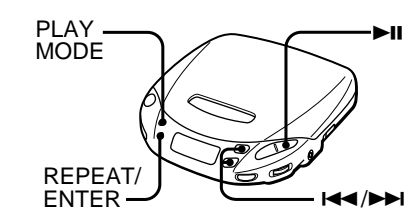
全曲を順不同に聞けます。

PLAY MODE

演奏中に「SHUF」が出るまで、PLAY MODEボタンを繰り返し押す。
次の曲から順不同で全曲を1回演奏します。

シャッフル演奏をやめるには、演奏モードの表示が消えるまで、PLAY MODEボタンを繰り返し押します。

ご注意
- シャッフル演奏中は、I◄◄を押しても前の曲には戻りません。

好きな順に聞く（プログラム演奏）

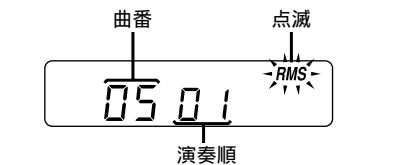
最大22曲まで好きな順に聞けます。

PLAY MODE　►II　REPEAT/ENTER　I◄◄/►►I

1 **演奏中に「RMS*」が点滅するまで、PLAY MODEボタンを繰り返し押す。**

点滅

*RMSはRandom Music Sensor（ランダムミュージックセンサー）の略です。

2 **I◄◄または►►Iボタンを押して曲番を選ぶ。**
曲番と演奏順が出ます。

曲番　点滅　演奏順

3 **REPEAT/ENTERボタンを押す。**

4 **2、3を繰り返して好きな曲順を選ぶ。**

5 **►IIボタンを押す。**
「RMS」の点滅が止まり、選んだ順に演奏が始まります。

■ボタンを押すと、登録した曲順が消えてしまいます。消したくないときは、RESUMEスイッチをONに合わせてください。

プログラム演奏をやめるには、演奏モードの表示が消えるまで、PLAY MODEボタンを押します。

プログラムした曲順を確認するには

[プログラム中] 5の操作の前にREPEAT/ENTERボタンを押します。

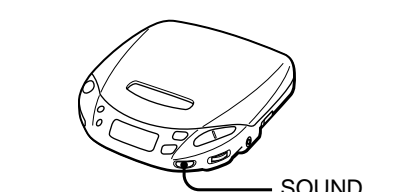
[プログラム演奏中] 「RMS」が点滅するまでPLAY MODEボタンを繰り返し押し、点滅したらREPEAT/ENTERボタンを押します。

REPEAT/ENTERボタンを押すたびに曲番と演奏順が表示されます。

ご注意
- 22曲をプログラムした後さらに曲を選ぶと、最初にプログラムした内容が消えて、新しい曲がプログラムされます。

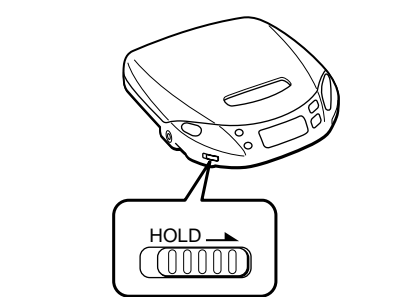
いろいろな機能を使う

低音を強調するには（SOUND機能）

音楽に合わせて、重厚で迫力のある音で演奏を楽しめます。

SOUNDボタンを押して、「MB」または「GRV」を選びます。
「GRV」のほうがより低音が強調されます。

ご注意
- 音がひずむときは、音量を下げてください。

誤操作を防ぐには（ホールド機能）

本機をカバンに入れているときなど、誤って動作するのを防ぎます。

HOLDスイッチを矢印の方向へ動かします。操作ボタンを押しても、「HoLd」が出て動作しません。

ホールド機能を解除するには、HOLDスイッチを矢印と反対の方向へ動かします。

裏面につづく→

音もれを抑え耳にやさしい音で聞くには (AVLS)

AVLS (Automatic Volume Limiter System) は耳にやさしい音にするために、音量がある一定以上に上がらないようにします。

AVLSスイッチをLIMITに合わせます。
「AVLS」が出ます。

ご注意
- SOUND機能とAVLSを同時に使うと、音がひずむことがあります。その場合は音量を下げてください。

止めたところからCDを聞くには（リジューム機能）

通常は演奏を止めると、次は1曲目から演奏されますが、リジューム機能を使うと、最後に止めたところから演奏されます。

RESUMEスイッチをONに合わせます。

リジューム機能を解除するには、
RESUMEスイッチをOFFに合わせます。

ご注意
- リジューム機能をONにしていても、ふたを開けると最後に止めたところの記憶が消え、CDの1曲目から演奏が始まります。
- リジューム演奏は、−約30秒の誤差が出ることがあります。

動作の確認音を止めるには

動作確認のためのピッという音を鳴らないようにできます。

本体電源（ACパワーアダプター、充電式電池、乾電池）をはずします。本体の■ボタンを押しながら、再び電源を接続します。
再び確認音が鳴るようにするには、本体電源をはずし、■ボタンを押さずに本体電源を接続します。

ステレオ機器につなぐ

他のステレオ機器でCDを聞いたり、テープに録音できます。詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。接続する機器の電源を必ず切ってから接続してください。

*LINE INやREC INジャックのない機器をつなぐときは、別売りの接続コードRK-G134を使ってMICジャックに接続します。

ご注意
- CDを聞く前に、つないだ機器の音量を下げてください。思わぬ大音量が出て、スピーカーを破損するおそれがあります。
- 「ピッ」という操作音はLINE OUTジャックからは出力されません。
- LINE OUTジャックにケーブルを接続しているときには、つないだ機器で音量を調節してください。
- LINE OUTジャックにケーブルを接続しているときには、SOUND機能は働きません。

▶電源

充電式電池で使う

初めてお使いになるときは、充電式電池を充電してください。
充電式電池はBP-DM10（別売り）またはBP-DM20（別売り）をお使いください。使いかたは同じですが、充電時間、持続時間が違いますので、お持ちの充電式電池を確かめてお使いください。
BP-DM10、BP-DM20以外の充電式電池は使えません。

1 電池入れのふたを開ける。

2 「SONY」の文字の向きがふたの裏側の絵と同じになるように充電式電池を入れ、ふたを閉める。

3 下の絵のように付属のACアダプターをつなぎ、約2時間 (BP-DM10の場合) または約3.5時間 (BP-DM20の場合) 充電する。

充電中は「CHG」が出ます。
（すでに充電が完了している場合は、「CHG」と ▭ が点滅します。）

4 充電し終わって「CHG」が消えたら、ACパワーアダプターをはずす。

ご注意
- 充電中は本体底部が少し温かくなりますが、異常ではありません。
- 充電時間は充電式電池の使用状態により異なります。
- 初めて充電するときや長時間使用しなかった後では、充電しても通常の持続時間より短いことがあります。何回か充放電をすると通常の状態に戻ります。
- 充電後、常温で使える時間の半分くらいで電池がなくなってしまうときは、新しい充電式電池BP-DM20またはBP-DM10と交換してください。これ以外の充電式電池（単3形充電式電池など）は使えません。

乾電池・充電式電池の取り替え時期について

電池が消耗すると ▭ が表示され、その後「Lo bAtt」が表示されます。乾電池は2本とも新しいものと交換し、充電式電池は充電し直してください。充電式電池を長持ちさせるために、電池は消耗してから充電してください。

電池の持続時間（水平に置き、振動のない状態で演奏した場合）(EIAJ*)

アルカリ乾電池2本 LR6SG	約14時間
BP-DM20（約3.5時間充電**）	約7時間
BP-DM10（約2時間充電**）	約3.5時間

*EIAJ（日本電子工業会）の測定方法に基づいています。
**充電時間は充電式電池の使用状態により異なります。

ACパワーアダプターで使う

1 ACパワーアダプターをつなぐ。

各部のなまえ

1. 表示窓
2. DC IN 4.5V（外部電源入力）ジャック
3. OPENボタン
4. PLAY MODEボタン
5. HOLDスイッチ
6. REPEAT/ENTERボタン
7. LINE OUT（ライン出力）ジャック
8. ■（停止）ボタン
9. ▶II（演奏／一時停止）ボタン
10. RESUMEスイッチ
11. ∩（ヘッドホン）ジャック
12. AVLS*（快適音量）スイッチ（底面）
13. VOLUME（音量調節）つまみ
14. SOUNDボタン
15. I◀◀/▶▶I(AMS**/SEARCH)ボタン

*AVLSはAutomatic Volume Limiter Systemの略です。
**AMSはAutomatic Music Sensorの略です。曲の頭出しをして選曲する方法です。

▶その他

使用上のご注意

安全のために
- 本機に使われているレーザー光が目にあたると危険です。絶対にプレーヤーを分解したりしないでください。
- 万一、異物が中に入ったときは、電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。
- DC IN 4.5 V(外部電源) ジャックには異物を入れないでください。

電源について
- 本機を使用しないときは、すべての電源をはずしておいてください。

乾電池の取り扱いについて
液漏れや破裂を防ぐため次のことをお守りください。
- 新しいものと古いもの、または違う種類のものを混用しないでください。
- 充電しないでください。
- 長い間使わないときは、出しておいてください。
- 万一、液漏れしたときは、よく拭き取ってから、新しい電地に入れ換えてください。

ACパワーアダプターについて
- AC-E45L/AC-E45MA（別売り、国内用）/AC-E45HG（別売り、海外用）をご使用ください。これ以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因となることがあります。

- 電源コンセントから抜くときは、必ずACパワーアダプターを持って抜いてください。

充電式電池と乾電池について

このマークはニカド電池のリサイクルマークです。

この製品には、ニカド電池が使用できます。ニカド電池はリサイクルできる貴重な資源です。ニカド電池の交換および、ご使用済みの製品の廃棄に際しては、ニカド電池を取り出し、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってニカド電池リサイクル協力店へご持参ください。

- 電池を火の中に入れないでください。
- 発熱、発火などのおそれがありますので、充電式電池の⊕端子と⊖端子を金属で接続しないでください。（金属性のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアーピンなどと一緒に携帯、保管はしないでください。）

本機の取り扱いについて
- ディスクテーブルのレンズには指を触れないでください。また、ホコリがつかないように、ディスクの出し入れ以外はふたを必ず閉じておいてください。
- 落としたり重いものを乗せたりしないでください。本機に強いショックを与えたり、圧力をかけたりしないでください。ディスクに傷がついたり、本機の故障の原因となることがあります。
- 次のような場所に置かないでください。
  - 直射日光があたる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高いところ。
  - ダッシュボードや直射日光下で窓を閉め切った自動車内（特に夏季）。
  - 磁石やスピーカー、テレビのすぐそばなど磁気を帯びたところ。
  - ホコリの多いところ。
  - ぐらついた台の上や傾いたところ。
  - 振動の多いところ。
  - 風呂場など、湿気の多いところ。
- ラジオやテレビの音に雑音が入るときは、本機の電源を切って、ラジオやテレビから離してください。
- ACパワーアダプターでご使用中は、本機を絶対に布などでくるまないでください。本機の内部および外部の温度が上がり、思わぬ結果が発生することがあります。

ディスクの取り扱いについて
- 本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状（星型、ハート型など）をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

ヘッドホンで聞くときのご注意
- **交通安全のために**
  自転車やバイク、自動車などの運転中は、ヘッドホンは絶対に使わないでください。歩行中でも音量を上げすぎるとまわりの音が聞こえなくなり危険です。とくに、踏切や横断歩道では充分にご注意ください。
- **耳を守るために**
  耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。耳を守るため、音量を上げすぎないように注意しましょう。
- **まわりの人のことを考えて**
  ヘッドホンは、音量を上げすぎると音が外にもれます。音量を上げすぎて、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。

雑音の多い所では、音量を上げてしまいがちですが、ヘッドホンで聞くときはいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

お手入れ

レンズの汚れは
レンズクリーニングキットKK-DM1(別売り）を使ってクリーニングしてください。

キャビネットの汚れは
柔らかい布で空ぶきします。汚れがひどいときは、うすい中性洗剤溶液でしめらせた布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためますので使わないでください。

故障かな？と思ったら

サービス窓口にご相談になる前にもう1度チェックしてみてください。それでも具合が悪いときはお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

演奏が始まらない。または、ディスクを入れても「no dISC」が出る。
- ➡ ディスクが汚れている、または大きな傷がある。大きな傷がある場合は、ディスクを取り換える。
- ➡ ディスクのラベル面を上にして入れる。
- ➡ 結露している。ディスクを取り出して、そのまま数時間置く。
- ➡ レンズが汚れている。
- ➡ 本体、電池入れのふたをしっかり閉める。
- ➡ 充電式電池と乾電池を正しく入れる。
- ➡ ACパワーアダプターをコンセントにしっかり差し込む。

▶IIボタンを押すと、「00」が一瞬表示されて消える。演奏が始まらない。
- ➡ 電池の残量がない。充電式電池は充電する。乾電池はすべて新しいものに取り換える。

音が出ない、または雑音が聞こえる。
- ➡ プラグをしっかり差し込む。
- ➡ プラグの先が汚れている。乾いた柔らかい布でクリーニングする。

「HI dc In」表示が出ている。
- ➡ 別売りのACパワーアダプターAC-E45L/AC-E45MA/AC-E45HGを使う。

ボタンを押すと「HoLd」が出る。
- ➡ HOLD状態になっている。HOLDスイッチを矢印と逆の方向にずらし、HOLD機能を解除する。

ボタンを押すと「Lo bAtt」が出る。
- ➡ 充電式電池が消耗している。ACパワーアダプターを接続し、充電式電池を充電する。
- ➡ 新しい乾電池と取り換える。

乾電池使用時の演奏時間が短い。
- ➡ マンガン乾電池を使用している。アルカリ乾電池を使う。
- ➡ 新しい乾電池と取り換える。

ボリュームを最大にしても音量が小さすぎる。
- ➡ AVLSスイッチがLIMITになっている。NORMにする。
- ➡ LINE OUTジャックにヘッドホンをつないでいる。

主な仕様

型式
コンパクトディスクデジタルオーディオシステム

取り込み方式
非接触光学式読み取り
（半導体レーザー使用）

レーザー
GaAlAs　ダブルヘテロダイオード
λ=780 nm

回転数
約500 rpm〜200 rpm

エラー訂正方式
ソニースーパーストラテジー
（クロスインターリーブリードソロモンコード）

復号化 (D/A)
1 bitクォーツ時間軸制御

周波数特性
20 Hz〜20,000 Hz $^{+1}_{-2}$ dB*

ワウ・フラッター
測定限界以下*

出力端子（電源電圧4.5 V時）
ライン出力（ステレオミニジャック）　1個
　最大出力レベル　0.7 Vrms（47 kΩ）
　推奨負荷インピーダンス　10 kΩ以上
ヘッドホン出力（ステレオミニジャック）1個
　最大出力レベル　15 mW+15 mW
　（EIAJ/16 Ω）
　推奨負荷インピーダンス　16 Ω

*日本電子機械工業会（EIAJ）規格による測定値です。

電源・その他

電源
- 充電式ニカド電池BP-DM10、DC 2.4 V、650mAh（別売り）
  充電式ニッケル水素電池BP-DM20、DC 2.4 V、1200 mAh（別売り）
- 単3形アルカリ乾電池2本（別売り）：DC 3.0 V
- 外部電源ジャック　定格DC 4.5 V
  ACパワーアダプター（別売り）を接続してAC 100V電源から使用可能

本体寸法
約129・28・146 mm（幅/高さ/奥行き、最大突起部含まず、奥行きは傾斜部含まず）

最大外形寸法
約129・28.5・146 mm
（幅/高さ/奥行き）

質量
本体　約220g
ご使用時　約310 g（アルカリ乾電池、ディスク、ヘッドホンを含む）

動作温度
5 C〜35 C

付属品
ヘッドホン(1)
乾電池(2)
オリジナルシール(1)*
取扱説明書(1)
サービス窓口•ご相談窓口のご案内(1)
保証書(1)
*本体（上ぶたなど）のお好きな位置に貼って楽しめます。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

別売りアクセサリー
ACパワーアダプター AC-E45L、AC-E45MA
接続コード RK-G129、RK-G136
アクティブスピーカー SRS-A71、SRS-T1、SRS-A5WP
充電式ニカド電池 BP-DM10
充電式ニッケル水素電池 BP-DM20
ヘッドホン MDR-E848LP、MDR-35

製品上のCEマークはEU加盟国で販売されるもののみに有効です。